

様式第 4 号

課題名	肝がんに対するバルーン閉塞下経動脈的化学塞栓術(B-TACE)の治療効果に関する検討
承認番号	2018-47 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 消化器内科 氏名 先田信哉
研究期間	(西暦) 2018 年 8 月 ~ (西暦) 2023 年 8 月
研究の意義・目的	肝がんの方への治療の一つにカテーテルを使い患部へ抗がん剤などをかける治療があります。通常のカテーテル治療を C-TACE と呼びますが、近年カテーテルの先に小さい風船をつけて行う B-TACE という治療の方がより効果が高いのではないかとされています。当科でも B-TACE を行っていますが、これを明らかにすると同時にどのようなタイプの肝がんがより有効かを予測すること、また早期の効果予測を行い次の治療につなげるかを明らかにすることは治療戦略上非常に有用です。
研究の方法 (対象期間含む)	過去に TACE を実施した患者さんを対象にします。C-TACE と B-TACE の場合で効果がどうであったかを通常の診療行為内である術後約 1 ヶ月の時点で撮影され造影 CT にて検討します。またどのようなタイプの方に有効であったかも検討します。更にこちらも通常の診療行為である術直後に撮影される単純 CT を使用し薬剤の集積度を数値化することで、通常はできない術直後の効果判定予測ができないかも検討します。研究期間は 2018 年 8 月から 2023 年 8 月です。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	通常の診療で行われる CT 画像の数値データで個人は特定されません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	CT での薬剤の集積度を数値化
試料・情報を 利用する者の範囲	TACE 実施された方
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	当院 消化器内科 先田信哉
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 消化器内科 氏名 先田信哉 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101